

津田 重典 社長 年頭あいさつ（要旨）

昨年当社は創立百周年を迎えた。我々広栄化学はいよいよ創立からの百年の歴史を超えて、次の百年に向けての歩みを開始した。これからは事業の再構築を一層加速して、栄光ある広栄化学の再生を行っていくことになるが、本年は次の百年の歩みの1年目となるので、皆さんの一層のご努力をお願いしたい。

2018年の新年を迎え、次の百年への歩みの1年目として、全従業員が心をつなげて、新たな目標に向かってチャレンジして行きたいと思っている。次の百年を更に栄光の年として行くためにも改めて3つのお願いをさせていただきたい。

1. 安全第一：決められたルールを守って完全無災害の一年に！

安全確保の一丁目一番地は「決められたルールを守る」ということである。当たり前のことをちゃんとやっていけば、必ずや完全無災害を達成できる。これを素直に再認識し、今年こそはもう一度初心に帰った安全活動を進め、是非とも完全無災害の一年を達成していただきたい。

2. 事業構造の抜本的改革による栄光ある広栄化学への再生を！

一昨年からはじめた中期経営計画においては、事業構造の抜本的改革により、栄光ある広栄化学への「再生」を目指すことが中心課題になっているが、皆さんとともに進めてきた各種の改革により、長年の懸案問題の多くは解消された。今後は関係各部門が互いに協力して、高収益を上げられる効率的なプラント運営を改めてお願いしたい。

また、事業構造を抜本的に改革し再生させるためには、的を絞った集中的な研究開発の推進により将来の有望分野に新製品を投入して、競争力のある新しい事業を構築していくことが必要である。新製品の研究開発を加速し早期に完成させることこそが当社の将来を決定する最重要課題であり、研究開発を担当していただいている皆さんには自分達に課された責任に大きな気概をもって取り組んでいただきたい。また、営業や企画ならびに間接部門を担当していただいている皆さんにも、社外に対するアンテナを常に高くして、事業環境の変化や顧客で起きていることなどを迅速かつ的確に捉え、ビジネスチャンスに繋げるようにしていただきたい。

3. 社会から信頼され発展を続ける強い広栄化学を目指そう！

コンプライアンスを守ることは企業活動を行う上において最も重要で基本となるものである。我々広栄化学は、コンプライアンスの遵守を最も重要な基本として、顧客の皆様、株主の皆様、さらには社会から信頼される会社であり続けられるよう、これからも従業員の皆さんと一緒に大切に育てて行きたい。また、会社の中で働いていく上で一番大事なことは、仕事をすることに喜びを見出し、毎日楽しく仕事をして、結果として業績を上げていくことである。今年も「皆で楽しく、皆が楽しく」をモットーにして、もっともっと良い会社にしていこう。

以上